＜第４４０６回＞
目的地：釈迦岳（比良）
担当者：今中
実施日：2023 年 9 月 10 日(日)
形　式：日帰りハイキング
費　用：¥3,260.-（大阪駅起点、帰りはイン谷口からバス利用）
参加者：7 名

天　気：晴のち曇り一時雨
行　程：
ＪＲ北小松駅(9:00)→(9:24)北小松登山口(9:31) →(9:49)楊梅滝 (9:57) →(11:06)ヤケ山(11:24)→タンヤマノ頭(12:10)→(12:16)ヤケオ山[昼食](13:03)→(13:27)釈迦岳(13:46)→(15:32)イン谷口バス停(16:00)⇒(16:10)ＪＲ比良駅［解散］（但し、1 名は比良トピアに立ち寄るため比良舞子口バス停で下車。）

感　想：

今日の降水確率は気象協会とウェザーニュースは 60%なるも気象庁の予報は 30%なので山行は決行することに。北小松駅では空は晴れ。太陽がギラギラと照りつけています。首筋を日に焼かれながら舗装道路を歩いて登山口へ。Ｎさんは日傘。この異常気象では日傘は必携ですね。
登山口から石の階段を上って沢沿いに揚梅滝へ行く道がありますが、かなり険しいと思われるため左側から迂回路を登って滝へ行きます。
急坂をしばらく登ると第１滝見台。ここから右に下ると雌滝ですが、今日は省略。少し進んで第２滝見台。ここに荷物を置いて身軽になって雄滝へ下ります。右側が切れ落ちていて聊かスリルがあります。下りきったところに雄滝。落差 40mの雄大な滝で水量も豊富。滝壺が広がっています。耐暑訓練のような今日の山行の中、唯一ここだけは涼しいです。
滝でゆっくり休んだあとは滝見台へ戻って急坂を登り、寒風峠への分岐である涼峠を経てしばらくだらだら坂を登ってヤケ山へ到着。釈迦岳が間近に大きく望めます。みんなかなり疲れていますが、昼食は次のヤケオ山なのでもう少し頑張ります。
ここから一旦下って、樹木のない急坂を激しく登り返し、いい加減嫌になったところで突如ヤケオ山に到着。この急坂はしんどいですが展望があるのでありがたいです。ここでゆっくりと昼食。
昼食の後、最後の稜線歩き。アップダウンを繰り返しながら左に琵琶湖や鈴鹿の展望を楽しみながら釈迦岳に到着。しかし、釈迦岳の少し手前から雨が・・。頂上は雨でなくても展望なし。近くにいたお兄さんに集合写真のシャッターをお願いして早々に下山。幸い雨は下山開始後 15 分ほどで止みました。下山は急な大津ワンゲル道を避けてロープウェイ跡の道を下ります。この道は登りの道と違って展望もなく薄暗い樹林の中の急坂です。
林道に出て暫く行くとイン谷口バス停。待ち時間 30 分でバスが到着。比良駅へ帰りました。
暑かったですが、滝は涼しかったし頂上付近の展望は最高。風も爽やか。今回の山行は大成功であった！